

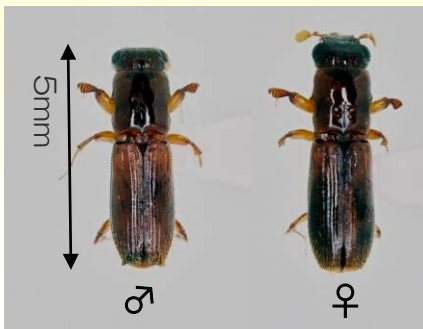
# ナラ枯れ被害の拡大を防止しよう

## 被害木の発見にご協力をお願いします

近年、本州の日本海側を中心にコナラやミズナラが集団で枯れる「ナラ枯れ」の被害が発生しています。

ナラ枯れの原因は長い間わかりませんでした。カシノナガキクイムシという昆虫が病原菌を運ぶことで、木を枯らす、「伝染病」の一種であることが明らかになっています。

宮城県では、**平成21年8月に初めて被害が発見されました。**ナラ枯れ被害を撲滅するのは困難ですが、被害の拡大を食い止めるためには「被害木の早期発見と確実な駆除」が何より重要です。



### 「ナラ枯れ」の病原菌を運ぶ「カシノナガキクイムシ」とは？

体長 5mm ほどの小さな虫で、雌は菌を入れて運ぶための器官を持っています。

カシノナガキクイムシは木に穴をあけ、持ち込んだ菌を育てて、自分やこどもの餌にしています。その時、ナラ枯れの病原菌も同時に持ち込まれます。

写真：(独) 森林総合研究所提供



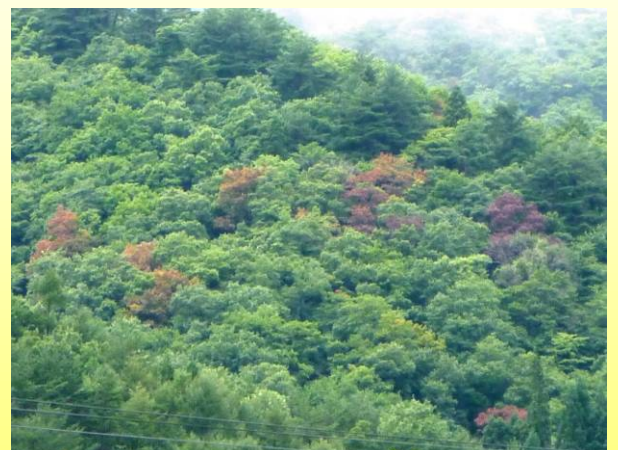
### 早期発見！

## 「ナラ枯れ」の見分け方

- × 紅葉シーズンでないのに **葉の色が変わる**
- × 木の種類は コナラ, ミズナラ
- × 太い木に被害が多い
- × 木の根元に **細かい木屑がたまっている**
- × 木の幹に **直径 15 mm 程度の穴が多数あいている**

これらの項目にあてはまる場合、

「ナラ枯れ」の可能性がります



ナラ枯れの様子 ((七ヶ宿町) 平成21年9月撮影)

**「ナラ枯れ」の疑いのある木をみかけたら、お近くの県機関(裏面)へ御連絡ください。**

## 県内での被害拡大を防止するには

- その1 被害が出ている地域から被害材を  
持ち込まない、利用しない
- その2 被害木の早期発見・確実な駆除
- その3 「里山林」を若返らせる

## カシノナガキクイムシの好きな 森林のタイプ

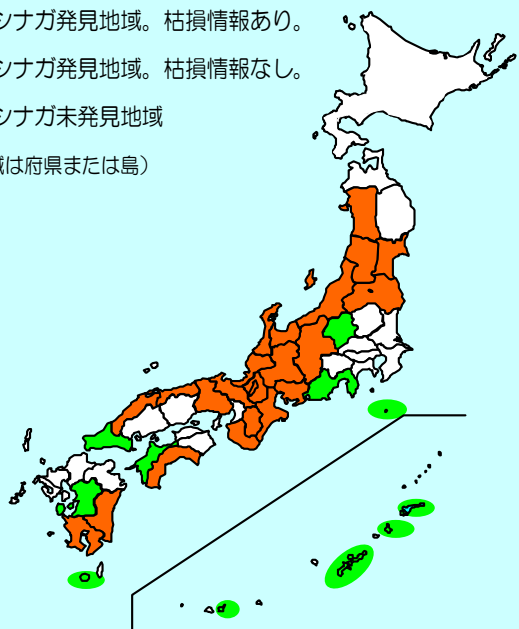
- 放置された里山林
- 大きな木を残した公園

カシノナガ発見地域。枯損情報あり。

カシノナガ発見地域。枯損情報なし。

カシノナガ未発見地域

(地域は府県または島)



これまでにカシノナガが見つかった地域 (2009.10.1.現在)

図: (独) 森林総合研究所提供を宮城県林業技術総合センターで調整

## 「ナラ枯れ」とわたしたちの身近な森林「里山林」の関係

ナラ枯れは、「里山林」が放置されていることが関係しているといわれています。かつての里山林はきのこの原木や薪炭材に利用するため、15年くらいのサイクルで伐採が繰り返されていましたが、現在は人の手が入らなくなり、高齢で太い木が多くなっています。このような木にはカシノナガキクイムシが好んで侵入し、繁殖するため、ナラ枯れ被害が多く出ています。そのため、里山林の伐採利用を図り、森林を若返らせることが重要です。



荒れた里山林がナラ枯れ被害の温床に・・・

## 「ナラ枯れ」の疑いのある木をみかけたら、

お近くの県地方振興事務所・地域事務所  
または、林業技術総合センターまで御連絡ください。

事務所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX
大河原 林業振興班	〒989-1243	柴田郡大河原町字南 129-1	0224-53-3249	0224-52-3485
仙台 林業振興班	〒981-8505	仙台市青葉区堤通雨宮町 4-17	022-275-9252	022-275-0364
北部 林業振興班	〒989-6117	大崎市古川旭四丁目 1-1	0229-91-0719	0229-91-0749
栗原 林業振興班	〒987-2251	栗原市築館藤木 5-1	0228-22-2381	0228-22-5795
東部 林業振興班	〒986-0850	石巻市あゆみ野五丁目 7	0225-95-1436	0225-23-3401
登米 林業振興班	〒987-0511	登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5	0220-22-6125	0220-22-1604
気仙沼 林業振興班	〒988-0181	気仙沼市赤岩杉ノ沢 47-6	0226-24-2535	0226-24-8994
林業技術総合センター (普及指導チーム)	〒981-3602	黒川郡大衡村大衡字はぬ木14-1	022-345-2816	022-345-5377

ご協力をお願いいたします。

このチラシは(独)森林総合研究所のご協力をいただき、宮城県林業技術総合センターで調整したものです。